

国土交通省
道路局長

殿



刈谷市長 榎並 邦夫



新緑の色増す季節となり貴職に於かれましては益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて早速でございますが、先般、道路特定財源の見直しに伴う具体策として「真に必要な道路整備（中期計画）は計画的に進める」との閣議決定を受け、平成19年中に中期計画を作成するに向けての意見を求められましたが、刈谷市長としての意見は下記の通りですのでよろしくお願いいたします。

記

Q1 これまでの道路政策に関して、特にどのような改善点があるとお考えですか。

A1 国によりこれまで推進していただいた道路網整備により、日本経済の発展に大きく寄与してきた点は高く評価されるべきと認識しておりますが、一方では国庫補助事業に際して構造的な採択基準が厳しく求められる点については、結果として地方の独自性を生かした道路作りを阻害している部分が見受けられますので、それぞれの地域の実情に合った基準で道路作りができるようご配慮をいただきたいと存じます。

Q2 今後、道路行政においては、無駄を排するなど効率化を徹底する必要があると思いますが、特にどのような点を重視すべきとお考えですか。

A2 第二東名高速道路や東海環状自動車道の整備などが一段と進み、本市を含む西三河地域の経済の活性化に結びついたことは誠に喜ばしいことでありましたが更なる発展のためにも、引き続き未整備区間の事業促進をお願いいたします。

また、多車線道路として用地を取得したにもかかわらず、諸般の情勢により暫定的にその一部を供用している道路につきましては、供用部分の交通量が増大し、大渋滞を引き起こすなどの事態を迎えているにもかかわらず、その未使用部分に雑草が繁茂し、ごみが不法投棄されるなどの状況が多々見受けられます。こうした事態を把握していただきましてうえて、既に取得した用地を無駄にすることのないよう、より効率的な道路行政を展開していただきたいと存じます。

Q 3 道路に関して無駄と感ずることありますか。具体的にお教えください。

A 3 全国的に見ても、当地区に限定してみても道路はまだまだ必要であると考へております。道路整備は産業の活性化、効率化に欠かせないものであり、これからも計画的な道路行政が推進されますことを強く要望いたします。

Q 4 今後、取り組む道路政策の一層の重点化を図ることが必要であると思ひますが、優先度が高い又は低い課題への対応は何であるとお考へですか。

A 4 当地区に限定しての優先度の高い課題といたしましては、国道23号バイパスが豊明市から幸田町の国道248号まで接続されるなど東西軸の整備が進められたのに比べて見劣りのする南北軸の整備を早急にお願ひいたします。

特に本市内における国道1号と交差する道路につきましては、国道1号への負荷をかけてはならないとする観点から、容量を増やすことができず、結果として国道1号を横断するのにかなりの時間を要する事態を招いており、これが本市内において交通渋滞が慢性化しているとの印象を強く与える要因のひとつとなっております。この問題の解消のため知立市以西の国道1号の再整備を強くお願ひいたします。

又、渋滞の大きな原因のひとつには右折帯の無い交差点が挙げられます。右折帯の無い交差点への右折帯の設置に最優先で取り組んでいただきたく強く要望いたします。

Q 5 国民の皆さまに対し、幅広くご意見を頂くこととしておりますが、特に留意すべき点などあればお教えください。

A 5 道路計画の策定、道路整備の推進にあたっては地域のニーズを正しくつかむことが最も重要であると認識しております。

今回の調査を単なる調査だけに終わらせないためにも、継続的な調査を実施していただき、またその結果を道路行政に反映させていただきたいと存じます。